

所属長	所属科長	事務(局/部)長
		

令和3年 4月5日

理事長 殿  
学長 殿

## 令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

標記の件につきまして、別紙のとおり報告いたします。

また、本研究報告の内容は、近畿大学学術情報リポジトリ（KURepo）に公開する旨、承諾いたします。

1. カテゴリー	<input type="checkbox"/> 研究 <input checked="" type="checkbox"/> 開発・改良 <input type="checkbox"/> 提案
2. 企画題目	フェイスシールドを3Dプリンタで製作して医療施設に100個寄贈する

研究代表者

所 属： 工学部 ロボティクス学科

職・氏名： 黄 健



# 令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	フェイスシールドを3Dプリンタで製作して医療施設に100個寄贈する
研究者所属・氏名	研究代表者：黄 健 共同研究者：小谷内 範穂 有限会社日本プラント設計 代表取締役 高下 朋彦

## 1. 研究、開発・改良、提案目的・内容

近畿大学工学部卒業生である高下氏が、地元の病院のために、医療現場の要望を聞きながら改良を重ねたフェイスシールドを会社保有の3Dプリンタで製作し販売を行っていた。本学にその取り組みの説明があり、それを受けて工学部ロボティクス学科の実習用の3Dプリンタを使用して、地元東広島に無償提供を行うことを学部で決定した。高下氏からは、無償でフェイスシールドの3DCADデータが提供され、近畿大学工学部同窓会からは、材料費等15万円を負担していただくこととなった。

## 2. 研究、開発・改良、提案経過及び成果

完成したフェイスシールド100個を、日頃お世話になっている工学部校医・産業医である東広島記念病院に寄贈を行った。  
全国的に不足しているフェイスシールドを多くの団体が製作しているが、広島県東広島市においての供給量は十分ではなかった。すぐに工学部でできることを行いたいという社会貢献の使命感により、スピード感を持ってこの事業に取り組んだ。また、工学部同窓会との信頼関係により、資金援助を得られた。この取り組みによって、東広島地域における近畿大学への信頼感、同窓会との絆を強固にできたと考える。

## 3. 本研究と関連した今後の研究、開発・改良、提案計画

既にフェイスシールドも市場で購入できる状況となったため、この取り組みは終了とする。

## 4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)

## 5. 開発・改良、提案課題の成果発表等

特になし